

2024年1月4日

2021年度生（2022年卒業・黄色）

「二十歳の集い」式辞

慈しみのこころ

黄色の皆さん、お帰りなさい。久しぶりの母校はいかがですか。こうしてお天気にも恵まれ、二十歳の集いで再会できたことに感謝したいと思います。共に過ごした学び舎、共に過ごした仲間だからこそ感じる喜びでしょう。

2024年の幕開けは、想像もしなかった出来事が続いています。この二年間は新型コロナ、ウクライナ、ガザなど、感染症や戦争、災害、事故、事件の様子がネットから瞬時に伝わり、自分自身の当事者意識のなさや、もどかしさも覚えました。

しかし、皆さんが卒業した後の2022年の9月、静岡は線状降水帯に襲われ、ひと晩でひと月の降水量を上まわる雨量を記録しました。英和の最も低い場所は水没してしまいました。地球温暖化を当事者のひとりとして思い知った出来事でした。

これらの世界規模の、日本の課題に、これからはAI（人工知能）が救世主となってくれるかもしれません。しかしそれはあくまで一つの手段です。どうか「地の塩 世の光」として慈しみのこころで、互いに愛し合う道をこれからも歩んで下さい。